

令和元年第7回（12月）
西原町議会定例会
一般質問通告

質 問 日	質 問 議 員		
12月6日（金） 4人	① 真栄城 哲	② 宮 里 芳 男	③ 伊 集 悟
	④ 宮 里 洋 史		
12月9日（月） 5人	⑤ 上 里 善 清	⑥ 崎 原 盛 秀	⑦ 与那嶺 義雄
	⑧ 大 城 純 孝	⑨ 大 城 誠 一	
12月10日（火） 4人	⑩ 与 儀 清	⑪ 喜 納 昌 盛	⑫ 仲 松 勤
	⑬ 前 里 光 信		
12月11日（水） 4人	⑭ 大 城 好 弘	⑮ 伊 計 裕 子	⑯ 屋比久 満
	⑰ 長浜 ひろみ		

一般質問通告内容(令和元年 第7回定例会)

質問者	① 真栄城 哲 議員	質問の相手
1. 文化行政について	<p>(1) 令和元年10月31日未明に、首里城で発生した火事により、正殿を含む多くの貴重な文化遺産が焼失しました。この出来事に、県民は深く傷心しています。また本町は、第二尚氏王統の始祖である尚円王が、即位前に内間領主であったことから、首里城との関係も深く、町民にとっても悲しい出来事でした。そして今、首里城復興に向けて、政府をはじめ、県民や国内外の多くの方からの支援が集まっています。首里城復興に関し、現在本町が行っている活動を伺います。</p> <p>(2) 当然、復興に向けた活動は大切と考えますが、それと同時に、県や国の文化や文化遺産。さらには、地域に根差す伝統文化や芸能などについて、町民と共に理解を深めていく事も大切な要素と考えます。来年は、尚円王即位550年という大きな節目の年にあたり「文教のまち西原」として、その役割は非常に大きいと考えます。以下の件について伺います。</p> <p>ア. 文化や文化遺産、町の伝統文化や芸能等に対する理解を深めていく事は、これからの保存のあり方や継承へのあり方に繋がると考えます。教育長の考えを伺います。</p> <p>イ. 町内における伝統文化や芸能等の保存会と町行政は、保存や継承等について、これまでどの様に関わってきましたか。</p>	教育長
2. 本町職員の業務環境について	<p>町行政を司る職員の業務は、住民サービスや将来の西原町を描く政策立案など多岐に渡り、多忙を極めています。現在財政状況が厳しく、職員の確保もままならず、その業務環境は決して良いとは言えないと感じています。以下の件について伺います。</p>	町 長

<p>3. PPP/PFIについて</p>	<p>(1) 職員の業務環境について、担当部課はどの様に理解していますか。</p> <p>(2) 業務環境について、調査を行いその実態を把握できていますか。</p> <p>9月定例会で提案しましたが、PPP/PFIを活用した、官民連携による新たな事業展開について再度提案します。以下の件を伺います。</p> <p>(1) 9月定例会の町長の答弁で、沖縄振興開発金融公庫と支援協定を締結したとありましたが、どの様な内容の締結で、現在どのような取り組みを行っているのかを伺います。</p> <p>(2) 官民連携（PPP/PFI）は、もはやあたりまえ。今までの行政主導の発注では、マンパワーという見えないお金が支出されている。住民の税金であることの自覚を意識することが大切である。これは、先進地の鹿屋市職員の言葉です。本町も実施に向けた取り組みを始めるべきだと考えますが答弁をお願いします。</p>	<p>町長</p>
<p>4. 町の環境問題について</p>	<p>最近、町内においてカラスがだいぶ増え、ゴミ袋をあさっている被害も確認されています。また、野良猫・犬については、カラスの問題以前から同様の被害や保護や殺処分等の問題について、県内外で議論や取り組みが始まっています。住民の生活環境を守る観点やMICE施設を誘致した当該町として、しっかりと取組まなければならない問題です。以下の件を伺います。</p> <p>(1) カラスの個体数や生息状況や被害状況を伺います。</p> <p>(2) これ以上の個体数や被害の拡大を避ける為、どの様な対策と取り組みが必要と考えますか。</p> <p>(3) 野良猫・犬の被害状況や保護、殺処分等について、実施している取り組みや対策について伺います。</p>	<p>町長</p>

質問者	② 宮里芳男議員	質問の相手
1. 道路行政について	<p>坂田ハイツ内の道路は、建設から約50年が経過し、歩道は街路樹による「根上がり」のため、でこぼこになっています。そのため歩行者、特にお年寄りや車いす、ベビーカーの通行に支障をきたしています。早急に町道へ移管する為に、行政と坂田ハイツ自治会の協議会設置を要望します。その為に、以下について質問をします。</p> <p>(1) 協議会設置について、町の見解を問う。</p> <p>(2) 昨年12月の定例会では、ハイツ内の道路が非課税になっているとの答弁でした。 ア. 非課税にした申請書類の資料はないか。 イ. 坂田ハイツ内の道路の総坪数を伺います。 ウ. 坂田ハイツのメイン道路の道路の坪数と長さを伺います。 エ. 開発当時の資料は、どの程度残っているか。</p> <p>(3) 坂田ハイツの道路は、地籍調査対象にはならないのか。対象にならなければその理由を伺います。</p>	町長
2. 水道事業について	<p>以前は、断水対策として水タンクの設置が当然のことであった。しかし、近年県内ダムが増設、拡張等で断水がほとんどなくなった。その為に新築住宅等では水タンクを設置しない家庭も増えている。</p> <p>(1) 町は、水タンクを設置している家庭をどの程度把握しているか。</p> <p>(2) 水タンクは定期的に掃除をしないと、「ヘドロ」が溜まって体調に良くないのではと思うが、水道から直結することを推進する必要はないのか。</p>	町長
3. 空き地の管理指導について	<p>町のホームページに、住宅の近隣にある空き地に草が繁茂している等、管理不十分により発生する苦情に対応して、「生活環境安全課から地主へ雑草等の撤去について、指導または勧告を行う。」「地主が指導、勧告に従わない場合、期限を定めて、雑草等の撤去をするよう措置命令をする。」と記載されている。以下について質問します。</p>	町長

	<p>(1) 町内でこれまで指導、勧告、措置命令をした事例はあるか。</p> <p>(2) 措置命令とは、どのような命令か。</p>	
質問者	③ 伊集悟議員	質問の相手
1. 不登校の児童生徒の学ぶ機会確保について	<p>去る10月17日に沖縄県と文科省は、2018年度の児童生徒の不登校の調査結果を公表し、1,000人あたりの不登校の割合が小学校、高校では、全国最多という心配な結果が出ております。また、2016年に成立した「教育機会確保法」に基づき、文科省は、10月25日に不登校児童生徒への対応について、学校復帰を前提としないとする方針、支援策などについて、新たな通知を出しております。そこで伺います。</p> <p>(1) 直近の町内の児童生徒の不登校の状況を伺う。</p> <p>(2) 新通知の内容と、それを受けての教育委員会、各小中学校の対応及びこれまでとの対応の違いについて伺う。</p>	教育長
2. 増え続けるいじめや暴力について	<p>沖縄県、文科省の調査によると、2018年度の沖縄県におけるいじめや暴力の認知件数は、12,799件と過去最多となっております。うち、小学校が11,499件と大半を占めております。この結果は、軽微ないじめも見逃さない、積極的に認知し、早期対応につなげようとする学校現場の意識の高まりと努力の結果でもあると認識しております。</p> <p>町内においても、学校や放課後、部活動等でのいじめやトラブルは増加傾向にあり、私も何度も相談を受けているところでもあります。そこで伺います。</p>	教育長

<p>3. 幼児教育無償化実施と課題について</p>	<p>(1) 30年度及び31年度の町内の小学校、中学校のいじめ認知件数について伺う。</p> <p>(2) 認知件数の増加傾向は、軽微のいじめやトラブルへの積極的な対応の結果だと思いますが、どのようなケースが多いのか、対応事例について伺う。</p> <p>(3) 神戸市立東須磨小学校で、とんでもない教員間のいじめ事件が発生し、大問題となっております。子どもたちを指導する立場の教員として、絶対に許されないことでもあります。町内の学校において教員間のいじめやパワハラなどのトラブルの発生はないか伺う。</p> <p>70年ぶりの大改革といわれる幼児教育無償化は、わが国の最大の課題である少子化対策に向けた大きな社会投資でもあります。対象となる子育て世帯にとっては大きな経済的負担の軽減になっていることと思います。しかし、いろいろと課題も出てきているようでもあります。そこで伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 豪雨時の通学路の道路冠水について</p>	<p>(1) 無償化により保育ニーズが高まり、利用希望者が増え、結果、待機児童の増加も懸念されますが、令和2年度の申込状況はどうか。幼保無償化による影響はないか伺う。</p> <p>(2) 県は、待機児童をゼロにする目標達成期限を19年度末から2年間先延ばしし、21年度末とした計画案をまとめました。新聞報道では、石垣市と南風原町の2市町が21年度末に解消見込みになることが理由とされているようですが、本町での待機児童解消計画はどうか伺う。</p> <p>去る6月の豪雨では、小波津川のみならず、町内複数の河川の氾濫や道路冠水が発生しました。通勤、通学時間帯とも重なり、大きな影響がありました。</p> <p>呉屋集落内の道路(西原中学校の運動場バックネット裏)は、今回の豪雨でも道路冠水し、車両の通行もできない状況でした。当該道路は、西原中学校、西原東小学校の児</p>	<p>町 長</p>

<p>5. 新電力導入によるコスト削減、財政効果について</p>	<p>童生徒が登下校で利用する通学路ということもあり、登校に大変支障があり、危険を感じたと保護者や近隣住民から相談と対策の要請をいただきました。当該道路の冠水対策について伺う。</p> <p>9月から庁舎での新電力導入の試験がスタートしました。売電も含めて80万円ほどの財政効果を見込んでいるとのことでした。また町内の小中学校6校を新電力会社に切り替えた場合、年間500万円ほどのコスト削減が見込まれるともお聞きしました。そこで伺います。</p> <p>(1) 現在、町が負担、支払いをしている電気料金の種別と年間の電気料金を伺う。</p> <p>(2) 上記をすべて新電力会社に切り替えた場合、どれくらいの財政効果が見込めるのか伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>④ 宮里洋史 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 所管事務調査を行って</p>	<p>10月に総務財政常任委員会の所管事務調査で、熊本ではRPA、鹿児島でPFI事業を視察に行った。どちらも新しい取り組みに積極的にチャレンジをして成果を上げた事業であった。以下伺う。</p> <p>(1) RPAは事務単純作業をロボットにさせることにより職員の単純作業を減らし、よりクリエイティブな業務に専念できるよう期待が持てた。RPAについて調査を行ってはどうか。</p> <p>(2) PFI/PPPは以前議会で話したように可能性を期待されている事業である。町の取組はどうか。</p>	<p>町長</p>
<p>2. 町興し</p>	<p>今年の西原まつりは天気も良く過去最高の集客であったと感じるがどうか。実行委員会で今後の運営について話し合うと聞いているがどのような議論を行っていくのか。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 子育て</p>	<p>10月から幼児教育無償化が始まった。無償化による効果はいくらになるのか。また新たな課題はあるか。</p>	<p>町長</p>

4. まちづくり	10月に国道西原バイパス要請のため、内閣府・国交省・財務省へ行った。地権者同意が一番の鍵であると思うが町としてどのように考えているか。早期実現するための課題を伺う。	町長
5. 財政政策	県への統一化に伴い、国保の累積赤字を解消する期限が示された。そのため西原町の財政運営はひっ迫している状況である。県と話し合い、赤字解消を延長して行うことができないか。	町長
6. 防災行政	沖縄県消防防災ヘリ導入について西原町の立場を伺う。	町長
7. 教育行政	(1) 内間御殿の進捗状況は (2) 教育委員会事務事業の点検及び評価報告書について、事務局は評価委員にどのような資料を提示して評価を下しているのか。	教育長
質問者	⑤ 上里善清 議員	質問の相手
1. 道路行政について	住環境の整備・企業活動等において、道路網整備は重要である。無秩序な住宅地の開発や企業立地が進む前に道路網の整備を先行させることが、将来の良好なまちづくりになる。以下の事について伺う。 (1) 国道329号バイパスの進捗状況と完了年度。 (2) 県道浦添西原線の進捗状況と完了年度。 (3) 県道那覇北中城線の進捗状況と完了年度。 (4) 町道小波津川北線・南線・小波津屋部線の進捗状況と完了年度。 (5) 町道兼久仲伊保線の進捗状況と完了年度。 兼久地域から我謝地域へのすく道の整備計画。 (6) 町道兼久マリンタウン線の進捗状況と完了年度。	町長
2. 大型 MICE 施設について	東西格差の解消を掲げ大型 MICE 施設用地決定から数年経過したが、整備費の予算確保ができず県も難渋している。現在の状況と見通しについて伺う。	町長

<p>3. 安心・安全について</p>	<p>首里城火災の報道を見て大きなショックを受けた。沖縄人のアイデンティティーの象徴であった首里城、観光の中心的存在でもあり経済的損失は計り知れない。再建に向け、なぜ、火災を防ぐことが出来なかったか十分な検証を行い今後の取り組みに活かしてほしいものである。そこで、このような火災は身近にも起こるもので、私たちも日頃から火災対策に取り組むことが大事である。以下の事について伺う。</p> <p>(1) 行政施設の火災対策</p> <p>ア、火災報知器の設置</p> <p>イ、消火器の定期点検と設置状況</p> <p>ウ、スプリンクラーの設置</p> <p>エ、適正な電気配線</p> <p>オ、火災保険</p> <p>(2) 個人住宅の火災対策</p> <p>ア、火災報知機の設置は義務となっているが町内の設置率は何パーセントか。</p> <p>(3) 高層住宅の火災対策</p> <p>ア、火災報知機の設置率</p> <p>イ、スプリンクラーの設置</p> <p>(4) 大型企業施設の火災対策</p> <p>ア、火災報知器の設置</p> <p>イ、消火器の設置</p> <p>ウ、スプリンクラーの設置</p> <p>(5) 町民への啓蒙の取り組み</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 首里城再建の取組みについて</p>	<p>首里城再建に向け、寄付金は多方面で増えており、支援の輪が広がっている。西原町もいち早く庁舎内に寄付金箱を設置したことに感謝しています。今後は、行政・町民を含めた運動に取り組むことが出来ないか伺う。</p>	<p>町 長</p>

質問者	⑥ 崎原盛秀議員	質問の相手
1. 首里城再建について	<p> 沖縄県民の拠り所、首里城の焼失は沖縄県民をはじめ、全国、世界のウチナーンチュや世界の沖縄ファンが嘆き悲しみ、計り知れない喪失感に包まれています。沖縄観光立県としての中核をなす首里城の焼失は好調を維持する沖縄観光業界・経済界に影を落とすことになりましたが、反面、首里城再建へと政治・経済界・県民の素早い動きは心強く、沖縄県民が一丸となった出来事でもありました。那覇市では首里城再建支援の目的寄付としてのクラウドファンディング型ふるさと納税で予想を上回る億単位の寄付金が集まり、また、支援の輪は沖縄経済界をはじめ各種団体、全国へと日増しに広がっています。さらに県や市町村でも募金箱の設置やふるさと納税を活用した検討が始まっているとの新聞報道がございました。そこで以下について伺います。 </p> <p> (1) 本町内の首里城再建のための募金活動(例えば庁舎内・各自治会事務所・商工会等の公共施設等)の取り組み状況について伺います </p> <p> (2) 本町においても首里城再建のためのクラウドファンディング型ふるさと納税を検討しているのか伺います。 </p> <p> (3) 目的寄付としてのクラウドファンディング型ふるさと納税を活用した那覇市の取り組みは沖縄県民の想いを深く受け留める事例として、インターネット等の情報発信や新聞報道等により成しえた事例であると思います。本町の補助事業で該当しない項目について、これまで議会で提案してきたクラウドファンディング型ふるさと納税を検討されては如何でしょうか。 </p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
2. 大型MICE施設について	<p> 大型MICE施設は言うまでもなく西原町の将来を展望する、あるいは本県東海岸地域の発展を促す起爆剤として大いに期待が寄せられている事業です。これまで県は沖縄関係予算の一括交付金の活用を目指し、国と協議を進めておりましたが、内閣府は事業の採算性などを疑問視して </p>	<p>町長</p>

<p>3. 国道329号西原バイパスについて</p>	<p>一括交付金の交付を認めず、関連して本町の大型MICE施設周辺の土地利用計画の実現に向けた取り組み「MICE受入環境整備可能性基礎調査」についても国からの交付が認められないとのこと。また、委託費が2,930万円と高額であり単独費での予算計上が厳しく周辺整備計画が停滞をしているとのこと。そこで現在の停滞している調査業務等を推進するため以下について伺います。</p> <p>(1) 市町村の都市再生事業を支援する目的の「まちづくり交付金」等の活用、その他補助メニューがないのか伺います。</p> <p>(2) 今般の調査業務等について目的寄付としてのクラウドファンディング型ふるさと納税を検討してみてもは如何でしょうか。</p> <p>(3) 先の定例会で第3回大型MICE振興に関する協議会を10月30日開催予定とのことでしたが、その協議内容等について伺います。</p> <p>当該、国道329号西原バイパスについては、西原町の将来を展望する大型MICE施設と連携する幹線道路として大いに期待が寄せられております。</p> <p>そのような中、内閣府総合事務局では国道329号(中城村～西原町)の道路の計画検討を行うため、第2回アンケート調査がおこなわれましたが以下について伺います。</p> <p>(1) アンケートの調査結果として</p> <p>ア. 市町村毎の配布件数と回答件数について。</p> <p>イ. 回答率について。</p> <p>ウ. 意見等の内容について。</p> <p>(2) 今回のアンケート調査の中で3ルート案が示されておりましたがどのルート案に決定したのか伺います。</p> <p>(3) 同バイパスの事業完了予定時期について伺います。</p>	<p>町 長</p>
----------------------------	--	------------

<p>4. 西原町学生ソーシャル・ビジネス・プロジェクト (NS²BP) について</p>	<p>西原町と琉球大学が連携する事業に「西原町学生ソーシャル・ビジネス・プロジェクト (NS²BP)」という、西原町内の高校生が各種イベント等や西原町の特産品開発や特産品販売をとおして西原町をアピールし「西原町を元気にしていこう」というプロジェクトがございます。6期生を迎えた、今年8月、三重県で開催されました第4回全国高校生 SBP 交流フェアのチャレンジ部門で琉球大学の学生らと行った町の PR 活動が高く評価され極賞と審査委員特別賞の2部門の受賞に輝いたとの新聞報道が掲載をされました。同 NS²BP の受賞は多くの町民からも称賛され、町内高校生の皆さんにも夢と希望を与えたのではないのでしょうか。そこで以下について伺います。</p> <p>(1) NS²BP のこれまでの活動内容を伺います。</p> <p>(2) NS²BP に対する西原町と琉球大学からの、これまでの支援状況をお聞かせ下さい。</p> <p>(3) NS²BP の活動について、今後の方向性等がございましたらお聞かせ下さい。</p> <p>(4) 提案として、NS²BP の活動拠点として次年度秋完成予定の西原町農水産物流通・加工・観光拠点施設でのイベント広場の活用や特産品の開発・販売を検討してみてもは如何でしょうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 潜在的待機学童の解消について</p>	<p>全国学童保育連絡協議会の資料によると学童保育に対する年間の国庫補助金は年々拡大されているが保育園と比べると学童保育への国庫補助金は少ないとのこと。また、今年の秋から消費税が10%に増税され子育て支援への期待を寄せていたが先の衆院選で新たな用途として「幼児・高等教育の無償化」などが示され、実際にこの秋より先行して「幼児教育の無償化」が行われ、放課後や学童保育の資金が回ってくるのは後回しになるのではとの心配の声が西原町学童クラブ関係者からございました。そこで以下について伺います。</p> <p>(1) 本町の放課後児童クラブ (学童) に対するこれまでの支援状況について伺います。</p>	<p>町 長</p>

	<p>(2) 消費税10%に伴う子育て支援の中で幼児教育の無償化が先行し放課後や学童の支援が後回しになる可能性の有無について分る範囲でご教示下さい。</p> <p>(3) 本町においても潜在的待機学童は100人余と課題であり、最小経費で最大効果を上げる待機学童解消対策として、児童館や自治会事務所を活用した居場所づくりを推進強化できないものか伺います。</p>	
質問者	⑦ 与那嶺 義雄 議員	質問の相手
1. 今後の“しまくとぅば”継承の取り組みについて	<p>先の9月議会に続き質問をします。沖縄におけるしまくとぅば継承の取り組みは、2006年の県条例「しまくとぅばの日」制定から13年が経過するが、関係団体からは大きな成果が見られず、危機感を深めているのが現状です。先の議会では、①“しまくとぅば”はウチナーンチュのアイデンティティーそのものであり琉球文化の基層をなすもの。②琉球諸語は日本語に対して方言ではなく、対等な姉妹言語だということが研究者の常識であること。③西原町では小学生を対象にした講座の開設やウチナー芝居の上演、講師養成講座及び指導集団の結成がなされてきた、等が議論されました。</p> <p>しかしながら、そのような取り組みが県内の各市町村で取り込まれながらも、まだまだ不十分で言語消滅の危機を脱することができず、県知事もさらなる取り組みを表明している。そこで、お聞きする。</p> <p>(1) 事業展開において、大学研究機関と連携して、例えば「前期・中期・後期」といった事業行動計画を策定した取り組みができないか。</p> <p>(2) 教育課程特例校制度を活用した“しまくとぅば”継承の取り組みには様々な課題があることは教育長の答弁で承知している。しかし、隣の中城村教育委員会では以前からそのような特例制度を活用して学校現場で「護佐丸歴史講座」を実施している。要は“しまくとぅば”の重要性と消滅の危機にあるとの認識と意欲が大事だと考える。県の取り組みと連携した積極的な姿勢が必要だと思う。見解をお聞きする。</p>	教育長

<p>2. 琉球王国時代の歴史の道の整備について</p>	<p>首里城から幸地グスク、さらに上原から中城城をへて勝連グスクへ連なる歴史の道は優れた歴史遺産だ。中でも、世界遺産である首里城と中城城を結ぶ西原町内を通る歴史の道及び周辺に存する刻時森や番所跡地、幸地グスクの整備は、県内の歴史文化遺産の整備の観点からも重要で急を要すると考える。去る10月30日の県内2紙は、「中城ハンタ道“歴史の道”に、文化庁23年ぶりに選定」、「“中城ハンタ道”追加選定、文化庁 歴史の道百選」と中城城から延びる中城ハンタ道の記事が掲載された。このハンタ道沿いには数年前に中城村が整備をし、その後国指定文化財となった新垣グスクも位置する。この歴史の道に関していえば、首里と中城村の間であって、どうにも西原町の埋没感は否めない。</p> <p>“文教のまち西原”として歴史の道の整備計画は急務と考えるが、ご見解をお聞きする。</p>	<p>教育長</p>
<p>3. 財政ひっ迫下の今後5年間のまちづくりについて</p>	<p>町の財政状況の悪化は、ここ2～3年教育や福祉予算の削減など町民に大きな負担を強いている。さらに、徳佐田地区や幸地IC地区の都市計画事業の凍結など、町の将来に暗雲が立ち込めている。一方で、隣接する浦添市・浦西駅周辺は駅の開設と同時に周辺地域は都市開発が勢いよく始動している。本町の行政サービスの低下と各種事業の凍結が5年も継続されるという事態は、“いったい自治体の街づくりとは何か？”と考えざるを得ない。</p> <p>(1) 従来のように単年度の収支合わせに終始することなく、向こう5年間の抜本的な行財政改革を具体的に提示し断行すべきと考えるが、ご見解を。</p> <p>(2) 都市計画の観点からすれば、徳佐田や幸地IC地区及び与那原町に隣接するマリン・タウン地区も事業化に向けての調査は断念すべきではない。5年の凍結は10年の遅れになり、街づくりにおいて浦添市と与那原町に大きく水をあけられる。町民にとっては耐えられない。ご見解を。</p>	<p>町長</p>

	<p>(3) 今日の西原町の財政悪化の原因を、町長は国民健康保険税の赤字が原因だとし、財政運営の失敗を認めていない。県内市町村は押しなべて国民健康保険特別会計は赤字が慢性化している。他の市町村は国民健康保険特別会計の赤字を適切に管理し、一般会計予算への大幅なダメージを回避してきた。そのため、多くは西原町のような極端な財政ひっ迫に陥っていない。国保会計は人格を有しない。その責任は行政の長にある。一般会計を含めた財政運営の失敗が今日の財政悪化を招いていると考えるが、ご見解を。</p>	
質問者	⑧ 大城純孝 議員	質問の相手
1. 都市計画マスタープランについて	<p>西原町都市計画マスタープランは、本町の基本的な方針になっています。</p> <p>(1) マスタープランの計画の中で中間年次が平成32年とあります。来年令和2年でのマスタープランの計画の変更があるのか伺います。</p> <p>(2) 大型MICE関連での周辺の土地利用について、見直しの作業は完了したのか伺います。</p> <p>(3) 土地利用見直しと那覇広域都市計画との県との調整はどのようにしているのか伺います。</p>	町長
2. 兼久・東崎線、兼久・安室線について	<p>現在、この道路の整備は日々進んでいるように思います。</p> <p>(1) 兼久・東崎線の整備供用開始はいつになるのか伺います。</p> <p>(2) 兼久・安室線の交差点から西原小学校入口までの区間の供用開始等はいつごろになるのか伺います。</p>	町長
3. 西地区土地区画整理事業について	<p>県道38号線の整備が浦添側から進み、本町の西地区区画整理地内に向けて供用されています。</p>	町長

<p>4. 新年度予算について</p> <p>5. 働き方改革について</p>	<p>(1) 本町の西地区土地区画整理地内の工事は、いつ開始予定なのか。そして完成はいつごろを予定しているのか伺います。</p> <p>(2) この県道38号線の沿線は、モノレールの開通と駅の完成で利用価値が上がっていると思います。町としては、どのように取り組むのか伺います。</p> <p>来年度予算の編成は、現在進行中であると思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 現状の各事業の予算確保については、どのような状況か伺います。</p> <p>(2) 例年11月～12月にかけて査定していくと思いますが、次年度の予算についてはアクションプランではどのように取り組むのか伺います。</p> <p>(3) 農水産物流通・加工・観光拠点施設の財政的な負担はどうか伺います。</p> <p>会計年度任用職員制度が来年から始まります。</p> <p>(1) 今までの職員（臨時・嘱託員）体制はどのようになるのか伺います。</p> <p>(2) 現状の職員（臨時・嘱託員）数は、増か減なのか伺います。また、募集があるのか伺います。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑨ 大 城 誠 一 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 幼児教育・保育無償化について</p>	<p>幼児教育・保育無償化制度が10月からスタートした。本件については、広報にしはらの8月号と9月号に掲載し、対象者への周知を図っている。次の点について伺います。</p> <p>(1) 国は、2019年度は10月からの半年分として3,882億円、年間の利用者300万人を見込んでいるとある。本町の予算額と年間の利用者は。</p> <p>(2) 国からの交付時期や交付方法は。</p>	<p>町 長</p>

<p>2. 保育行政について</p>	<p>(3) 各施設等（公立保育所・認可保育園、認可外保育園、公立幼稚園、私立幼稚園、預かり保育、非課税世帯の0から2歳児の子）ごとの無償化対象人数は。</p> <p>(4) 認可外保育園を利用している子が、無償化を受ける条件として、保育の必要性があると認められるものとあります。認定できない案件はありましたか。あれば詳細について伺います。</p> <p>去る11月21日の新聞に「県、待機児童ゼロ断念」の報道があった。報道によると県は20日までに、2019年度末を期限に、県内の待機児童ゼロを達成する方針を断念し、目標時期を2年後の2021年度末に先送りすることを決めたとある。県では、41市町村の向こう5年間の待機児童見込み数などを試算したところ、数市町でゼロになる時期が2021年度末となったためとある。</p> <p>本町では、2020年度の公立保育所・認可保育園への入所（入園）募集は終了したと思いますが、次の点について伺います。</p> <p>(1) 公立並びに認可保育園では、深刻な保育士不足に悩まされていますが現状の不足人数は。</p> <p>(2) 2020年度に向けて保育士不足を解消する対策は。</p> <p>(3) 現状のままの保育士不足となると、定員割れになる園児は何名になりますか。</p> <p>(4) 次年度の待機児童予測数は。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 不登校、登校渋りの対策について</p>	<p>去る11月14日（木）に開催された生徒指導連絡協議会で、浦添警察署の担当官から、これまで1年間を通した町内両中学校の生徒補導状況は、喫煙2件、粗暴行為1件、計3件との報告があり、西原町の子どもたちはすごく落ち着いていますねとの報告がありました。</p> <p>一方、不登校や登校渋りについては、なかなか減少しないとの報告があり、登校支援員の廃止が影響しているのではと危惧しています。この対策として、教育相談員を学校現場に派遣するとともに、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを活用するとしていますが、次の点について伺います。</p>	<p>教育長</p>

<p>4. 兼久川流域の雑木の伐採について</p>	<p>(1) 小学校、中学校ごとの不登校の状況について</p> <table border="1" data-bbox="408 248 1171 398"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 小学校、中学校ごとの登校渋りの状況について</p> <table border="1" data-bbox="408 495 1171 645"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 不登校・登校渋り要因についての見解は。 (4) 家庭や地域との連携はどのように行っていますか。 (5) 不登校・登校渋りの児童生徒の中に子ども虐待を受けている子はいませんか。</p> <p>西原書道塾付近から国道 329 号線に抜ける河川管理道路沿いを流れる兼久川流域に、ガジュマル等の雑木が繁茂し、景観が悪いほか大雨時には流れを遮るなどの状況から、地域住民から雑木を伐採し整備するようにとの要望がある。伐採整備計画があるか伺う。</p>		29年度	30年度	31年10月	小学校				中学校					29年度	30年度	31年10月	小学校				中学校				<p>町 長</p>
	29年度	30年度	31年10月																							
小学校																										
中学校																										
	29年度	30年度	31年10月																							
小学校																										
中学校																										
<p>質 問 者</p>	<p>⑩ 与 儀 清 議 員</p>	<p>質問の相手</p>																								
<p>1. 墓地の問題について</p>	<p>南風原町字与那覇在住のG氏は、墓建設の問題で、大変苦慮しているとの事であります。経緯を申し上げますと、1989年に字安室386番地（現在地）に墓地を購入。同年に墓建設を役場にて相談。数年後に再度、妻と相談に行った。5年ほど前に、那覇市楚辺にある母の墓が立ち退きになり、仮墓を現在地に安置した。去年、三度役場で相談した時にも「分筆登記しなさい。」と言われ、帰されたとの事。それで、土地家屋調査士に相談すると、筆界特定も含めて分筆登記に約70万円かかると言われて負担が大きく断念した。しかし、来年はユンヂチ。人生の集大成でもある墓建設をあきらめきれず決心したとの事であります。そこでお聞きします。</p>	<p>町 長</p>																								

<p>2. 環境整備について</p>	<p>(1) 西原町墓地等の経営の許可等に関する条例施行規則によると、設置場所の基準が六つ。</p> <p>1 墓地の敷地は、当該墓地を経営する者が所有し、条例第6条の許可又は変更の許可を受けた後遅滞なく所有することとなるものであって、かつ、地上権、抵当権、賃借権その他の権利が設定されていないものでなければならないこと。2 墓地の区域の境界線と国道、県道その他主要道路及び河川又は湖沼までの水平距離が、30m以上離れていること。3 墓地の区域の境界線と公園、学校、保育所、病院、診療所その他公共施設又は住宅の敷地までの水平距離が、100m以上離れていること。4 飲料水の水源を汚染するおそれのない場所であること。5 30メートル以内に墓地があること。(個人)</p> <p>6 個人が設置する墓地の敷地については、墓地の設置を目的として分譲された土地(墓地以外の用途を目的として分譲された土地であっても、その用途を墓地に変更しようとする土地を含む。)でないこと。</p> <p>(1) 字安室386番地は、どれに抵触しているか。</p> <p>(2) 分筆を求めているということだが、分筆登記にこだわる理由は何か。</p> <p>(3) この場所は、墓地群で墓以外建築はできません。何故、墓地申請書すら貰えないのか。</p> <p>(4) 違反しないように担当者の指示通り手続きを進めていますが、「時間と費用」ばかりがかさみ、大変な思いをしているとの事であります。強調したいのは「墓は建立する時期」があります。来年はユンヂチです。墓前で子や孫、親せきが集い、にぎやかで先祖崇拝の場となるように思いばかり膨らみ、夜な夜なその事ばかり考えているとの事であります。迅速な手続きをお願いしたい。</p> <p>字津花波の農地改良地の津花波352番地が大雨の都度、排水が悪く冠水し作物に甚大な被害を及ぼしているとの事である。改善は可能か。また、「集水槽」も土砂等いっぱいということだが、掃除してもらえないか。</p>	<p>町 長</p>
--------------------	--	------------

3. 教育行政について	小学校のグラウンドは夕方からサッカー、野球で使用している訳であるが、午後6時を過ぎると真っ暗であります。防犯、子供たちの安全の面からも子供たちが自宅に帰るまで灯（外灯）が必要ではないか。	教育長
4. 福祉について	民生委員・児童委員は、11月いっぱいまで改選だが、補充・定数は大丈夫か。	町長
5. 火葬場建設について	私は去る9月定例会において、本町が資金的に苦しく火葬場建設が困難であるなら、民間による建設を提言した。3ヶ所の民間企業にあたってみたら好感触であった。それで民間による火葬場建設を推進する意味で、場所の選定や条例の改正において積極的な協力はいただけるのか。	町長
6. 行政について	運動公園の東入口の南側に急きよ廃品集積所のようなものができているが、町は把握しているか。	町長
質問者	⑪ 喜納昌盛 議員	質問の相手
1. 町政全般について	<p>(1) 西原町の次年度の予算編成作業の進捗状況は。議員への説明会は予定しているか。</p> <p>(2) 西原町の国民健康保険事業の赤字削減・解消対策は、先ほど住民説明会もなされたが、十分住民へ理解されたと考えるか。ある意味、実施してみないと分からない計画ではあるが、将来懸念することは無いのか。制度の限界も言われているが、県への一元化に伴い保険料の統一に向けて町としての見通しは。</p> <p>(3) 10月から始まった幼児教育・保育の無償化の西原町の現状は。</p> <p>(4) 沖縄県は、本年度末とした「待機児童ゼロ」の目標達成を断念し、2年後の2021年度末に先送りする方針を固めたとのことだが、西原町の現状は。</p>	町長

	<p>(5) 10月31日の早朝、首里城が炎上し崩壊してしまった。余りにも無残な姿に多くの県民が深い喪失感に打ちひしがれた。今、様々な形で首里城復興・再建の支援が広がりを見せていることは大変心強いことと考える。首里城の歴史、とりわけ第2尚氏の始祖、内間御鎖金丸こと尚円王とのつながりが深いここ西原は、琉球王国時代、首里王府の直轄地である三平の一つであった。その関係で尚円王生誕600年の諸事業を展開し、王即位550年の記念事業も一時計画してきたが惜しむらく断念してきた経緯がある。このような歴史的観点からも西原町は率先して首里城復興への何らかの役割を果たすべきと思うが、町当局の考えは。</p>	
質問者	⑫ 仲 松 勤 議 員	質問の相手
1. 西地区区画整理事業について	<p>去る令和元年10月17日に、法務大臣政務官ミヤザキ政久衆議院議員と共に国土交通省を訪ね、土地区画に関連した研修会を開催して頂きました。国交省より都市局市街地整備課・道路経済調査室の川村課長補佐をはじめ担当職員らとともに、土地開発や区画整理事業の基本構想、税金や減免の考え方、本町の現状、国道329号バイパスに関連した質疑を含めた有意義な時間を共有し、また具体的な助言を多数頂きました。</p> <p>その中で、区画整理事業法第101条における「事業中での使用収益の無くなった土地」についての損失とは、通常生ずべき損失を補償することによって地域地権者が不利益にならない為の条項であることを確認しました。</p> <p>これまでの議会でも申し上げておりますが、南風原町や八重瀬町、南城市、糸満市、浦添市等では行政施工の土地区画整理事業・区画整理に伴う税金対応について、広報や市町村ホームページで随時案内しており「区画整理事業に伴う固定資産税の減免について」や「区画整理に伴う重要なお知らせ」と題して広く住民へ情報提供を行っています。またその内容は、各市町村ではほぼ一致しており、南風原町広報より一部抜粋したものを次に示します。</p>	町 長

★区画整理に伴う重要なお知らせ★

～区画整理に伴う固定資産税の減免について～

①区画整理事業地内の土地の固定資産税については、毎年1月1日の現況を確認して行うことになっていきますので、1月1日時点において、区画整理事業の造成工事等で利用できない土地については固定資産税の減免対象になります

→**現況主義の考え方**

②固定資産税の減免については税務課窓口での申請が必要です。→**申請主義の考え方**

不明な点がございましたら、税務課までお気軽にお尋ねください

このように、住民の利益を得るため情報サービスの徹底をおこなっています。公共（町）に対し、土地を提供し町づくりへ協力している地権者に対し、他市町村の行う減免100%は常識的な対応であると考えます。改めて問います。

(1) そもそもなぜ「区画整理事業」における固定資産税の減免要綱ができたのか。

ア. その理由はなにか。

イ. 基となる上位法とその内容はなにか。

(2) 固定資産税課税などの税に関する行政の対応について。

ア. 現況主義とは何か。

イ. 申請主義とは何か。

(3) 減歩率30%の土地は既に公共用地の活用計画地であり、「地権者の使用収益外」であると考えます。この場合、既に地権者への課税対象は外れていると理解しています。

ア. 要綱内の減免対象土地が減歩率30%部分のみとなる理由を問います。

イ. 残る70%の土地については、「使用収益がある土地」とみなしているのかを問います。

(4) 現状の要綱では町民の不利益を生じていると考えます。固定資産税減免100%への変更を強く要望します。

<p>2. 西原町の町づくりについて</p>	<p>(1) 本町の保育施設に関連して以下を問います。</p> <p>ア. 現在の待機児童数及び、次年度の待機児童数は。</p> <p>イ. 待機児童の要因とその対策は。</p> <p>ウ. 認可外保育施設における保育料現物支給の取り組みを強く推進したいと思います。</p> <p>(ア) 現状を伺います。</p> <p>(イ) 豊見城市の取り組み内容について具体的に伺います。</p> <p>エ. 学童保育施設は利用する子ども達や父母にとって、とても大切で必要な場所であります。</p> <p>(ア) 学童保育施設について町長の見解を問います。</p> <p>(イ) 学童保育施設の課題を伺います。</p> <p>(2) 国道329号(仮)西原バイパスの予定事業について、ルート案Aの「工業団地の海側を通過し西原町から中城村に向けて約3、7kmの延伸後、国道329号に合流する」は、当町議会の9月議会においても、その生産的な側面から全員一致で意見書が可決されました。A案は町の発展に欠かせないマイス施設への推進にも大きく関わるものと認識しています。9月議を終え、議長と有志議員団は法務大臣政務官ミヤザキ政久衆議院議員と共に、国土交通省並びに麻生副総理兼財務大臣へ直接の要請を行っております。</p> <p>町長の具体的な要請活動について問います。</p> <p>(3) MICE推進の現状と課題について問います。</p> <p>(4) 国民健康保険税の改定について、去る11月21日(木)、国保税の改定説明会がありました。町民からどのような意見があったのか、またその答弁内容を伺いたい。</p> <p>(5) 琉球大学附属病院移転後の施設及び跡地利用について</p> <p>琉球大学医学部附属病院や医学部の普天間西地区への移転が着々と進められています。これまで県民や町民を支えてきた高度先進医療の場が無くなると同時に、広大な跡地の活用については、その計画内容などが不明な状態であり、町民からは漠然とした不安の声が上がって</p>	<p>町長</p>
------------------------	---	-----------

	<p>おります。</p> <p>わが町は、周辺地域への移動の利便性や医療体制の充実化に伴い、救命救急施設を伴う病院が着実に隣接されつつあるものと考えます。その中において、障がいのある・またはその疑いのある子どもの成長や発達についての相談を受ける、いわゆる「療育支援施設」が明らかに不足している現状を鑑み、文教の町・子どものための町、西原町の将来を担うべき取り組みを強化すべきであると考えます。療育施設は先に述べた子ども達やその家族に対して、情報の提供や診療・子どもに合わせた療育医療の提供を行う施設であります。現在、県内においては公的な支援センターは約3か所に留まっており、入所施設も病状によって限られております。町長の見解を伺いたい。</p>	
質問者	⑬ 前 里 光 信 議 員	質問の相手
1. 町政について	<p>(1) 西原町の人口動態について質問します。</p> <p>ア. 現在、自然増はどうなっているか。</p> <p>イ. 社会的増加はどうなっているか。</p> <p>ウ. 町内の若者達の結婚は、ほかの市町村と比較して多いのか。少ないのか。これらの事から、これからのまちづくりについてどのような計画が考えられるか。</p> <p>(2) 子どもの貧困問題について</p> <p>沖縄県民の所得が全国で最下位にあり、そのことが長期にわたり多くの場合、沖縄の子どもの成長に影響を与えていることは誠に遺憾である。公的な協力を得て子どもの貧困解消に乗り出しておりますが、我が西原町でのこの事業の実情をお聞きしたい。</p> <p>ア. 今いくつの地域で実行されているか。また、それにかかわる大人や参加する子どもたちの人数はどうなっているか。</p> <p>イ. それに対する町の予算はどうなっているか。</p> <p>ウ. この事業の問題点や今後の取組みについて質問します。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>2. 町の教育行政について</p>	<p>(3) いいあんべー共生事業について</p> <p>西原町では介護予防を目的に各行政区の公民館で実施されていると理解しています。現在は、33地区実施されているといわれています。この事業は、議会の当時の財政厚生常任委員会が読谷村まで行き見学し西原町に導入した事業であります。特に変わった出前講座等があれば紹介されたい。</p>	<p>町 長</p>
	<p>(4) 安全、安心なまちづくりについて</p> <p>ア. これまでに町内において、住宅及び商店で大きな火事が発生している。それを防ぐ方法として今後、行政はどのような計画があるか、示されたい。</p> <p>イ. 西原町を通る国道329号線は、かなり前に建設されたこともあり、歩道も狭くそのため事故も起きやすいと思われる。県や国を動かしてその道路の拡幅及び整備をする予定や計画はないのか。何十年もそのままになっていて、その事も西原町の発展の障害になっていないか。</p>	<p>町 長</p>
	<p>(5) 西原町の農業の支援について</p> <p>日本の国は食材として海外から多くの農産物を輸入している。自国で生産している農産物は約35%位だと思う。西原町の農業支援の実態を説明されたい。隣の町村の予算はどうなっていますか。</p>	<p>町 長</p>
	<p>支援教育を真に必要としている子どもたちの教育はどのような形でなされていますか。この子どもたちが大人になった時、自立出来ることが大事だと思うがそのような目標でなされているか。実態についての説明をされたい。</p>	<p>教育長</p>

質問者	⑭ 大城好弘議員	質問の相手
1. 町政について	<p>上間町長は、公約80%実現したと自己評価をして、一年を残して引退表明をしております。その事業執行に対する公約、実績評価、執行ロス、財政危機等について十分な説明が行われていない。町民に対する説明責任を果たすこと、今後の財政健全化実施計画を早期に立ち上げることが重要と考える。見解を問う。</p>	町長
2. 行財政改革と執行体制について	<p>(1) 総合事務局より財政健全化の指導が行われているが、いまだに指針が見えなく遅い状況にある取組みについて</p> <p>ア. 検討委員会の名称と委員の構成について。 イ. 財政健全化の答申はいつ頃になるのか。</p> <p>(2) 人件費について</p> <p>ア. 職員給料の1人平均年額。 イ. 職員定数。 ウ. 従事者総人数。</p> <p>(3) 敬老祝金交付事業について</p> <p>ア. 町長の公約とし、80歳以上1万円を支給した執行総額。 イ. 財政悪化の大きな要因になっていないか見解を問う。</p> <p>(4) 部長制度について</p> <p>ア. 4名の給料と管理職手当の増額分。 イ. 実績と評価について問う。</p> <p>(5) 図書館費について、平成24年度から平成29年度の増額になっているその要因と成果について。</p> <p>(6) 土地区画整理事業について</p> <p>ア. 計画年度について。 イ. 総事業費について。 ウ. 平成30年度までの進捗率について。 エ. 財政悪化の影響を受け事業費がかなり削減されている。今後の対応と見直しについて。</p>	町長

	(7) 庁舎建設に伴う2件の物件補償費について ア. 町負担額 イ. 補償の見通しについて	町長
質問者	⑮ 伊計裕子 議員	質問の相手
1. 平和行政について	<p>11月18日から20日まで、国内で初めて国内外の企業が武器・兵器を展示する国際的な見本市「DSEI JAPAN」が開催中止を求める声明も出され、また当日は市民らの抗議の中、開催されました。DSEIは英国で2年に1回開催されてきた世界最大規模の武器見本市で、今回が初めての海外開催ということです。元防衛事務次官が実行委員長を務め、防衛装備庁が出展。防衛省、外務省、経済産業省が後援するなど安倍政権の全面支援で行われました。その主催者がガイドブックに掲載されたインタビューで「最近の日本国憲法の変更(Changes)は、軍備拡大、自衛隊の海外派遣、日本の国内産業(軍需企業)が地球規模で進出することを可能にした」と明言。インタビューの翻訳文では、憲法の「Changes」を「一部改正」と訳しているそうです。日本国憲法は一度も改定されたことはなく、あきらかな誤認識ですが、安倍政権が進める立憲主義破壊の「戦争する国づくり」が、「死の商人」にビジネスチャンスを与えています。7月の参院選では、改憲勢力は改憲発議に必要な3分の2議席を割り込んだにもかかわらず、安倍首相は9条改憲に突き進もうとしています。そういう中で、全国の現職・元職の自治体首長らによる「全国首長九条の会」が結成され、17日に結成のつどいが開催されました。その際に確認されたアピールでは、『全国の住民ともっとも密接な行政機関の長として、住民の生命・財産を守る仕事に携わっている首長とその経験者による「全国首長九条の会」の発足は、「9条守れ」という国民多数の意思を体現するものであると考えます。』『全国の自治体首長、元職の皆さま、本会の趣旨に賛同し、ぜひこの一員に加わっていただくことを呼びかけます。』とあります。</p> <p>そこで、町長に伺います。西原町民の生命・財産を守る西原町長として、是非、「全国首長九条の会」へ加わっていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>	町長

2. 財政問題について	(1) 平成 29 年度財政状況類似団体比較カードを見ますと、歳入での交通安全対策特別交付金、使用料、諸収入がかなり低いようですが、その詳細を伺います。	町 長
3. 社会保障問題について	(2) 生活保護費、義務教育諸学校の経費の自治体負担分は、地方交付税の基準財政需要額に算入とのことであるが、その詳細を伺います。	町 長
4. 教員変形労働制について	<p>(1) 無料低額診療の周知をさらに徹底していただきたいと思ひます。また、対象医療機関を増やすよう、さらに調剤薬局への適用も他市町村と連携して県に対して要請していただきたいと思ひますが、いかがでしょうか。</p> <p>(2) 介護保険料滞納者への対応について伺ひます。</p> <p>(3) ケアプラン有料化の動きに対する見解を伺ひます。</p> <p>(4) 10 月から実施の幼保無償化の現状を伺ひます。</p> <p>(5) 「西原町子ども子育て支援事業計画（第 2 期計画）」の進捗状況を伺ひます。</p> <p>(6) 生活保護制度の周知はどのようにされているのでしょうか。</p> <p>公立学校教員の働き方に「1 年単位の変形労働時間制」を導入する給特法改正案に対して「教員の過労死促進法案」との批判の声が上がっています。町の見解を伺ひます。</p>	町 長
質問者	⑩ 屋 比 久 満 議 員	質問の相手
1. 首里城火災について	<p>去る 10 月 31 日未明に、世界遺産である首里城が火災で焼失したのは、皆様の記憶に新しいと思ひます。まさか首里城が？夢だろう？とか、信じがたく脱力感で暫く何も出来なかったのを今でも思い出されます。</p> <p>幸い、国内外から首里城再建にと多くの皆様方から善意</p>	町 長

	<p>の寄付金が寄せられております。 そこで以下について伺います。</p> <p>(1) 西原町には尚円王ゆかりの内間御殿ありますが、町として、支援金等は考えているのか？伺います。</p> <p>(2) 上記火災について、本町も関連しておりますが、町長の見解を伺います。</p>	
<p>2. 町管理の消火設備体制について</p>	<p>上記に関連しますが、町内の文化財や、所有する建物等について、以下について伺います。</p> <p>(1) 町内には何か所の文化財があるのか伺います。</p> <p>(2) 内間御殿等には、消火設備はあるのか伺います。</p> <p>(3) 文化財の火災や有事に対する訓練等を実施しているのか伺います。</p> <p>(4) 庁舎等には、どのような消火設備があるのかを伺います。</p> <p>(5) 庁舎等の消火訓練・避難訓練等は実施しているのか伺います。</p> <p>(6) 緊急時の避難訓練等に対応する、マニュアルは存在するかを伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 琉大病院移転について</p>	<p>本町上原にある琉球大学付属病院が宜野湾市に移転されますが、同病院の跡地利用等について、以下について伺います。</p> <p>(1) 琉球大学付属病院は、宜野湾市にいつ頃の移転になるのか伺います。</p> <p>(2) 同病院が本町に対して、いか程税金等を納めているかを伺います。</p> <p>(3) 本町として、跡地利用に関して企業等の誘致活動を</p>	<p>町 長</p>

<p>4. 学校行政について</p>	<p>行っているのかを伺います。</p> <p>本町の小学校や中学校は、現在、二学期制を実施しておりますが、以下について伺います。</p> <p>(1) 二学期制のメリット、デメリット。また三学期制のメリット、デメリットを伺います。</p> <p>(2) 二学期制が始まった当初は、県内で何校あったのか。また、今年度、何校で実施しているかを伺います。</p> <p>(3) 新聞報道によりますと、県内教職員の病気休暇が増えているとのことであるが、本町には小学校・中学校で先生方の人数と、休職者の人数を伺います。</p> <p>(4) 先生に応募する方々が、近年少なくなっていると報道されておりましたが、上記との因果関係について伺います。</p>	<p>教育長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑰ 長 浜 ひろみ 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. SDGs の取り組みについて</p> <p>2. 子育て支援・保育行政について</p>	<p>(1) 国際社会が2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標」SDGs西原町としての取り組み状況について伺う。</p> <p>(2) 情報発信・普及啓発・参画を促進の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) SDGsは言葉としては大分浸透してきているが、17の目標のおおのこの意味はなかなか伝わっていないところがあるため、認知度を上げていくことの取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 新生児聴覚スクリーニング検査について伺う。</p> <p>(2) 幼児教育無償化で給食費徴収が始まったが徴収方法はどのようになり、それに伴う保育園や保護者の反応を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

3. 高齢者福祉と健康寿命について	人生100年時代を見据えた高齢者の健康施策、就労支援(シルバー人材センター等)生涯学習支援の施策を伺う。	町 長
4. 補聴器の補助について	<p>(1) 身体障がい者手帳保持者の内、聴覚に障がいがある方は等級ごとに何人いるのか伺う。</p> <p>(2) 高齢難聴者、聴覚障がい者への窓口対応について伺う。</p>	町 長
5. 災害時に避難所となる施設、運動会などで利用されるトイレの破損具合について	<p>(1) 災害時に避難所となる体育館や町施設のトイレの洋式化率を伺う。</p> <p>(2) 破損状況を伺う。</p>	町 長